



【一般書】

○直虎と直政

岳真也 著

戦国時代末期。血みどろの策謀渦巻く奥三河の地で、おんな地頭として一族と領地領民を守り抜き、井伊の赤鬼と恐れられた宿縁の養嗣子＝直政を育て上げた次郎法師直虎。数奇な運命に彩られた幕臣筆頭井伊家中興の2人の実録。

出版社…作品社

分類…Fガ



ルーの夫婦をモチーフに紡ぐ、夫から認知症になった妻へのラブレターを、さだまさしが翻訳。

出版社…千倉書房

分類…726カ



【児童書】

○ドールハウスはおばけがいっぱい

柏葉幸子 作

小学生の女の子が、美術館館長のアルバイトをはじめました。「おばけ美術館」館長のまひるは、気がついたらドールハウスの中へ。どうしたら元に戻るの？ ふしぎな事件がいっぱいの「おばけ美術館」シリーズ。

出版社…ポプラ社

分類…913ド

○こんやもバクはねむらない

澤野秋文 作

なぜ夢を見られるのか知っていますか？ 実はたくさんのバクたちが、毎晩夢を配ってくれているのです。新米のピケが、先輩の指導のもと、幸せな夢を見せようと材料を集めてきますが、はりきりすぎて、つい失敗してしまい……。

出版社…講談社

分類…Eコ



○とても温かでとてもせつないきみの絵本

ジュヌヴィエーヴ・カスターマン 著
さだまさし 訳

長く幸せにくらしてきたカンガルーの夫婦。でも、ある日、妻はそんな日々の記憶を失いはじめ……。擬人化したカンガ



古河図書館



～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～ 「グローバルな人材になれるよう」

平河ヒューテック株式会社 飯田千里 さん

電線や電送ケーブルのほか医療用チューブの製造を行う平河ヒューテック(株)で医療製品の生産管理をしている飯田さん。

入社のきっかけは、高校の先生やすでに就職している先輩たちから「とても働きやすい」と勧められたからです。

就職してからは毎日が初めての連続でしたが、好奇心が旺盛な性格だったことや優しい同僚がたくさんいたこともあり、とても楽しく仕事ができそうです。

そんな飯田さんの悩み種は「英語力」。昨年から配属になった生産管理部門では、フィリピンやタイにある営業所とやり取りすることが多くなりました。メールや注文票は基本英語での対応となるため、翻訳ソ

フトを使用しながら対応をしていますが、「学生時代にもっと勉強しておけばよかったです。就職してから英語がこんなに必要になるとは思わなかった。非常に後悔をしています」と笑いながら話す飯田さん。

入社11年目を迎える今年の目標は「ズバリ、英語力の向上と一歩先を見越した生産計画を立てられるようになること」。

飯田さんの今後の成長が楽しみです。

■プロフィール
趣味のエアリアルヨガが終わってからの友達とのランチが毎週の楽しみ。
28歳・下辺見在住。

